

令和5年度 第5回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和6年1月12日（金）10:00～11:40

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

| 氏名 | 役職等 | 備考 |
|--------|-------------------------|--------|
| 塚本 成男 | 吉田町教育委員会委員（教育長職代理者） | 第3条第1号 |
| 大石 千恵子 | 吉田町農業委員会委員 | 第3条第1号 |
| 西尾 誠 | 吉田町商工会事務局長 | 第3条第2号 |
| 村松 直樹 | ハイナン農業協同組合専務理事 | 第3条第2号 |
| 松浦 光紀 | 南駿河湾漁業協同組合常務理事・吉田支所担当理事 | 第3条第2号 |
| 武田 高明 | 静岡うなぎ漁業協同組合専務理事 | 第3条第2号 |
| 田島 逸雄 | 吉田町社会福祉協議会長 | 第3条第2号 |
| 増田 竜彦 | 住吉区自治会長（自治会連合会会長） | 第3条第3号 |
| 松浦 祐之 | 川尻区自治会長 | 第3条第3号 |
| 桐田 不二雄 | 片岡区自治会長 | 第3条第3号 |
| 白石 寿一 | 北区自治会長 | 第3条第3号 |
| 岩根 政次 | 吉田町さわやかクラブ連合会長 | 第3条第4号 |
| 田中 啓 | 静岡文化芸術大学教授 | 第3条第4号 |
| 大箸 武史 | (株)静岡銀行吉田支店長 | 第4条 |
| 瀧井 一也 | 島田掛川信用金庫吉田支店長 | 第4条 |
| 飯田 千恵子 | (株)FM島田放送番組審議会委員 | 第4条 |
| 松永 進 | 島田公共職業安定所長 | 第4条 |
| 鈴木 史朗 | 静岡県中部地域局長 | オブザーバー |

（敬称略）

※ 松浦セツ子委員、鈴木佐知子委員、滝井愛美委員が欠席。
増田学委員、藁科昌利委員は代理人が出席。

4. 町長あいさつ

- ・本日は、第6次吉田町総合計画及び第4次吉田町国土利用計画について、吉田町総合計画等審議会の皆様に諮問させていただく。
- ・それぞれ2024年度から2031年度までの8年間の計画期間となっているが、この8年間というのは、南海トラフ巨大地震や自然災害への対応、少子高齢化に対する施策等を進めていく上で、本町にとって決定的に重要な期間となる。

5. 会長あいさつ

【静岡文化芸術大学 田中啓委員】

- ・第6次吉田町総合計画及び第4次吉田町国土利用計画については、これまで審議会で議論してきており、現在は大詰めの部分である。
- ・この大詰めの部分が非常に大切であるので、様々な意見をお願いしたい。

6. 諮問

6.1. 第6次吉田町総合計画について

田村町長より吉田町総合計画等審議会に対して、第6次吉田町総合計画の策定について諮問を行った。

6.2. 第4次吉田町国土利用計画について

田村町長より吉田町総合計画等審議会に対して、第4次吉田町国土利用計画の策定について諮問を行った。

7. 議事

7.1. 第6次吉田町総合計画について

事務局より「資料 No. 1 第6次吉田町総合計画基本構想(案)」、「資料 No. 2-1 第6次吉田町総合計画基本計画(案)」、「資料 No. 2-2 第6次吉田町総合計画資料編(案)」、「資料 No. 5 第6次吉田町総合計画の案に対するパブリックコメント手続の実施結果について」を説明した。

(1) 基本計画(案)について

a) 地震・防災対策

● 【〇〇委員】

- ・P10、施策1「防災訓練の継続的実施」において、自助・共助に関する取組の記載はあるが、地域の自主防災会と町との連携に関する取組(公助との連携)も計画書の中で明示したほうがよいのではないかと。地域で自主的に防災訓練を実施しており、町でも訓練を実施しているが、地域と町で連携した訓練は実施していない。

→ 【事務局】

- ・新年早々に震災があり、防災に対する意識が高まっているところと思われるが、ご意見は計画書に反映することは難しいが、個別計画や実施計画では地域と町の連携は検討していく。地域ごとに温度差があるようなので、担当課にも挙げておく。

→ **【田中会長】**

- ・重要なご意見なので、総合計画への対応については、会長と事務局と担当課で引き取らせていただきたい。

b) 環境衛生

● **【〇〇委員】**

- ・P28、施策1「飼い主のいない猫の過剰繁殖の防止」において、うちの周りにも飼い主のいない猫が多数いて、畑への糞害等もあり困っているため、町へ問合せをしようと組内でも話していたところである。どのような取組を検討されているのかを教えてください。

→ **【事務局】**

- ・総合計画の中では法律に基づき対応しているが、例えば飼い主のいない猫への去勢に補助金を出したり、小さい猫の飼い主を探したり、といった取組を都市環境課で実施している。

● **【〇〇委員】**

- ・P29、「施策4 火葬場の管理運営」において、昨年末の新聞報道で、牧之原市、御前崎市と吉田町とが合同で火葬場を整備し、2028年度以降に供用開始との記載があったが、それについて触れられていないのは何か理由があるのか。

→ **【事務局】**

- ・決定事項ではなくまだ協議中のため、総合計画の中で具体的な施策として挙げることは難しい。

→ **【田中会長】**

- ・総合計画には全ての事業を具体的に記載できるわけではなく、また吉田町だけでなく他市も関わっているため、吉田町だけの判断で計画書に反映することはできない。

c) 新産業

● **【〇〇委員】**

- ・P46分野の主な成果指標「産業振興事業補助金（新規創業事業）の交付件数（累計）」において、現状値11件に対して目標値が累計45件というのは、目標値として低いのではないか。

→ **【事務局】**

- ・目標値が多いと思うか、少ないと思うのかは主観によるものだと思うが、担当課にヒアリングをした限りでは妥当な数値であると考えている。

● **【〇〇委員】**

- ・町内で新しいことをしようとすると個の力では難しいため、町が先導して外から呼び寄せ

る必要があると思う。取組の内容が既存の制度を活用したようなものばかりなので、もう少し新しい取組を検討された方がよいのではないかと思う。

→ **【事務局】**

- ・外から誘致できるような取組を実施計画の中で検討してきたいと考えている。

d) 住環境

● **【〇〇委員】**

- ・P 5 1、分野の主な成果指標「空き家バンク制度の利用登録件数（累計）」において、空き家が現状増えてきている中で、空き家を有効活用するという施策だと思うが、現状 0 件に対して目標値が累計 5 件というのは目標値として低いのではないか。

→ **【事務局】**

- ・空き家は他の市町に比べて多くない状況ではあるが、空き家の数は増えてきている。空き家バンクに登録していただくためには地権者の理解も必要であり、空き家バンクへの登録が進まないという課題もあると同時に、まだ古くなった空き家が増えて困っているという状況でもないため、空き家問題に対する対策はまだこれからということでこのような目標値になっている。

→ **【鈴木オブザーバー】**

- ・県内でも多くの市町で同様に空き家バンクの取組を実施している。目標値を見ると 5 件というのは少ないように感じるが、根拠がわからないため、計画書には掲載しないにしても、事務局としてはその根拠をしっかりと把握して、町民がその根拠を知りたい場合にはすぐわかるような形式で、資料を提示するべきである。

→ **【田中会長】**

- ・目標値については各担当課がなぜその水準にしたのかを取りまとめて持っておくとよい。
- ・空き家バンクの目標値は、年間 1 件ずつというのは少なく、「バンク」というからには選べるような選択肢を用意しておかなければならない。難しいとは思いますが、何とか登録数を増やせるような取組を検討していただきたい。

e) 道路網

● **【〇〇委員】**

- ・P 5 4、「施策 2 生活道路の整備」と分野の主な施策「生活道路の新規事業着手の箇所数」において、未整備箇所の整備なのか、新規道路の整備なのか、また指標の単位は「箇所」なのか「km」なのかがちぐはぐのように感じられる。

→ **【事務局】**

- ・「未整備」とはまだ完成していないという意味であり、「新規事業」とはまだ着手していないという意味であるため、新しく道路を作ることではなく、拡幅や修繕等の整備を進めていくということをご理解をいただきたい。

● **【〇〇委員】**

- ・道路整備等は新しいものをどんどん作っていくと、固定資産税や都市計画税が上がり、後に残された人の負担が大きくなる。維持管理にもお金がかかるため、既存のものを生かし

て、もっと長いスパンで検討していただきたい。

→ **【事務局】**

- ・ 今回の計画は、基本構想が8年、基本計画は4年で検討しているが、人口減少下の中では都市間競争に打ち勝ち、吉田町に住んでいただくための取組を検討していく必要があり、住民意識調査においても「道路がきれいに整備されたまちに住みたい」という意見もいただいている。昔は箱モノをどんどん作っていたという時代もあったが、現状では建物を作るときには長寿命化計画を立てて検討するなどをしている。この第6次総合計画の中では、いかに吉田町に住んでいただくために町の課題についてどう対応していくかを検討していくものであり、ご心配いただくようなどんどん無駄なものを作って人を呼び込もうというものではない。

→ **【田中会長】**

- ・ 吉田町の財政状況を考えると、どんどん新しいものを作れるような状態ではない。また、現行計画と第6次総合計画では防災対策に重点を置いたものになっているが、もっと先には新しい社会を見据えた計画になると思う。

(2) 資料編（案）について

● **【田中会長】**

- ・ P 1 1、「第6次吉田町総合計画策定の経過」では本日の諮問と次回の答申が第5回と第6回の総合計画等審議会の開催となっていないが記載しなくてよいのか。

→ **【事務局】**

- ・ ご指摘のとおり修正する。

7.2. 第4次吉田町国土利用計画について

事務局より「資料 No. 3 第4次吉田町国土利用計画（案）」、「資料 No. 4 第4次吉田町国土利用計画参考資料（案）」、「資料 No. 2-2 第6次吉田町総合計画資料編（案）」、「資料 No. 6 第4次吉田町国土利用計画の案に対するパブリックコメント手続の実施結果について」を説明した。

● **【田中会長】**

- ・ 第4次吉田町国土利用計画（案）については、将来フレームを除いて修正はなかった。委員からの質問を伺いたい。

→ **【〇〇委員】**

- ・ 前回の計画と今回の計画で、町として大きく違っていくところ、変更したところが何か、というものがあれば分かりやすい。

→ **【事務局】**

- ・ 国土利用計画は、国の計画、県の計画が上位にあり、それと整合を図り吉田町の計画を策定しなければならないものである。その中で県との協議に時間を掛けて進めながら計画を策定してきたところである。
- ・ 吉田町の独自性を示す部分としては、計画書P 1 6「土地利用構想図」であり、「吉田町を将来このような形にしたい」というのを可視化したものである。この図を現行計画と見比

べていただけると変更した箇所が明確になる。

- ・ 前回の第3次吉田町国土利用計画では、シーガーデンシティ構想（防災と賑わい）と連携していくことを反映させている内容であり、今回の国土利用計画ではシーガーデンシティ構想を継続していきながら取り組んでいくものと考えており、計画内容は大きく変わっていない。第4次吉田町国土利用計画では、吉田IC周辺バスターミナル化などの第3次吉田町国土利用計画からより具体的になったものを「どのような利用の仕方をしていくのか」を明確にしたものと考えて頂きたい。

→ 【田中会長】

- ・ 基本的には、第3次吉田町国土利用計画を踏襲しているということである。

7.3. その他

- 【事務局】

- ・ 次回は令和6年2月11日（木）14時、この会場で開催を予定している。

以上